

中播磨支部運営委員会

播磨OH!



～HARIMA～

67号

発行責任者
支部長 富田徹矢
機関誌担当 鴨谷和明



2025年3月発行



支部長挨拶

中播磨支部長

厚生病院 富田 徹矢

春寒の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より兵庫県理学療法士会中播磨支部の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様の支えがあってこそ、支部の運営が滞りなく進んでいることを改めて実感しております。今年度も多くの事業を大きなトラブルなく進めることができ、無事に締めくくれることを嬉しく思っております。本年度は、新たな試みとして、県外会員の皆様にも研修会への参加を有料で受け入れたところ、予想を上回る多くのご参加をいただきました。県外からの参加者の熱意に触れ、私たちの活動が広く関心を持たれていることを実感し、大変励みになりました。この経験をもとに、さらに内容を充実させた研修会を企画していきたいと考えております。

また、本年度も新人発表会と症例検討会を実施し、支部全体での学びの場を提供することができました。その後に行われた支部コミュニティ再編プロジェクトでは、懇親会という形を取り、多くの会員の皆様にご参加いただけたことも大変嬉しく思っております。このような交流の場を通じて、支部内の結束が一層強まり、活動への参加意識が高まるように今後も継続して行いたいと思います。

現在中播磨支部では次年度に向けて、すでに鋭意準備を進めております。皆様には引き続きご協力をお願いするとともに、積極的なご参加をお待ちしております。新たな年度も、支部全体がさらに発展し、地域医療への貢献を深めていけるよう、全力で取り組んでまいります。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。





退任挨拶

今年度2名の先生が退任されます
お二人とも中播磨支部の活性化にご尽力されました。

医療法人仁寿会 石川病院 大谷武史

今年度ももちまして中播磨支部の運営役員を退任することになりました。これまで主に研修担当として仕事をしてきましたが、皆様に支えられ、やりがいを感じながら楽しく活動することができました。

コロナ禍以降、研修の在り方は大きく様変わりしました。当初はオンライン研修会にどれだけの方に参加してもらえるのか不安も大きかったですが、いずれの研修会も大変多くの方にご参加いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

新生涯学習システムに変わり、まだまだ慣れないところもありますが、支部会員の皆様に有意義な研修会を届けるという使命感をもって取り組んでまいりました。どれだけ期待に応えられたかはわかりませんが、中播磨支部主催の研修会が少しでも皆様の臨床にお役立っていただけると幸いです。

これからも陰ながら中播磨支部のために尽力していければと思います。中播磨支部のさらなる発展を祈念して退任の挨拶をさせていただきます。今までありがとうございました。

厚生病院 神原瀬里奈

このたび、中播磨支部の会計を退任する運びとなりました。この2年間、支部の予算管理や運営に携わる中で、多くの方々にご協力いただき、無事に役目を全うすることができましたことを心より感謝申し上げます。会計としての役割を担う中で支部の運営や活動に関わり、皆様とともに支部の発展に寄与できたことは、私にとって大変意義深いものでした。特に、支部の活動が円滑に進むよう予算の適切な配分と管理に努めてまいりましたが、皆様のご協力なくしては成し得なかったことと深く感じております。

今後とも、中播磨支部の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。そして、引き続き中播磨支部へのご支援をお願い致します。短い間でしたが、ありがとうございました。





中播磨・西播磨支部合同研修会

医療法人 仁寿会 石川病院 田中匠

11月14日に関西医科大学の野村卓生先生をお招きし、「糖尿病理学療法最新知見とベストプラクティス」というテーマでWeb研修会を行いました。

マルチモビディティの代表的疾患の一つである糖尿病における基礎知識から最新知見、理学療法士が行うリスク管理や運動療法まで非常にわかりやすくご講義頂き、明日からの臨床に活かせる研修会であり、まだまだ学んでいくことの必要性を感じました。研修会後のアンケートでも有意義なご感想をいただきました。アンケートのご協力ありがとうございました。

来年度も中播磨支部主催研修会に加え、西播磨支部との合同研修会を予定しております。ご参加のほどよろしくお願いいたします。



新人発表会

日本赤十字社 姫路赤十字病院 行山頌人

2025年2月9日、姫路ハーベスト医療福祉専門学校にて中播磨支部新人発表会を開催しました。参加いただいた皆様のご協力のおかげでスムーズに開催することができましたことを感謝申し上げます、誠にありがとうございました。

今回数年ぶりの対面開催であり、運営委員としては不安もありましたが、オンラインでの開催では難しかった活発な質疑応答や新人療法士同士の情報交換が出来たのではないかと思います。今回私は運営としての参加でしたが、自分の新人時代を思い出すことができ、また座長や参加者の方々の鋭い質問やアドバイスを聞くことができ、個人的にも日々の臨床へのモチベーションが上がりました。

来年度も新人発表会を開催予定であるため、今年発表された方も参加いただき、後輩へ今回の経験を伝えていただけたら幸いです。先輩方もぜひ来年度も新人発表会を盛り上げていただきたいです。また来年度もよろしくお願いいたします。





症例検討会

社会医療法人 松藤会 入江病院 田中佑弥

2025年2月9日（日）令和6年度中播磨支部新人発表と同日に中播磨支部主催の症例検討会を実施しました。

初めて対面での開催でしたが新人の先生含め多くの方にご参加いただきました。今年度は「神経系障害」をテーマに2名の先生方に症例提示を行っていただきました。脳血管障害症例に対する装具の選定、Back knee・すり足に対する治療法を検討し両演題を通してより神経系理学療法に対する深掘りができた検討会となりました。またいずれの症例検討も、今後の臨床の参考となる内容でした。

今回の症例検討で学んだ内容を明日からの臨床に役立てていただくと幸いです。



中播磨支部懇親会

かんざき訪問看護ステーション 鴨谷和明

2025年2月9日(日)の新人発表会、症例検討会終了後に支部コミュニティ再編プロジェクトとして、懇親会を開催致しました。コロナ感染以降懇親会が開催できていなく久しぶりの開催となりましたが、参加人数総勢31名と多くの先生方が足を運んでいただきました。お酒を交えながら横とのつながり、縦とのつながりを持ついい機会となったと思います。

今後も懇親会の場を開催し、より一層の支部会員との繋がりを作る機会を作りたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。





スポーツリーダー研修会

段医院 木村公一

2023年から始まったスポーツリーダー研修会も全7回を持って終了を迎え、6名がスポーツリーダーとして認定されました。本研修会は兵庫県理学療法士会スポーツ活動支援部の先生方に講義をいただき、各身体部位における詳しいスポーツ傷害や現場対応・理学療法について学びました。今回スポーツリーダーとなられた先生方には今後のスポーツ事業を盛り上げるべく、スポーツ現場でのサポート活動やスタッフの育成など、中心的役割として活動していただくことを期待しております。

中播磨支部では世界遺産姫路城マラソンをサポートしており、例年会員の皆様にも協力をお願いしています。スポーツや現場活動に興味のある方は是非ご参加ください。



世界遺産姫路城マラソン2025

段医院 木村公一

令和7年2月23日(日)に世界遺産姫路城マラソン2025が開催され、約9000名のランナーがそれぞれの思いを胸に市内のコースを駆け抜けていきました。

今大会も中播磨支部から24名の理学療法士が応急処置対応として救護活動に従事しました。普段の臨床とは違うスポーツ現場ならではの対応は、とても新鮮なものだったのではないのでしょうか。大会に向けては事前勉強会も行っており、知識だけではなく実技練習を通じた実践スキルの向上にも努めています。

会員皆様のご協力のおかげで、姫路城マラソンが安全で安心な大会として運営できておりますことを感謝申し上げます。興味のある方は是非来年の姫路城マラソンにご参加ください。





第36回兵庫県理学療法学術大会 推薦演題決定！！

今年度、第36回兵庫県理学療法学術大会
(令和7年10月19日 但馬会場：但馬長寿の郷 神戸会場：甲南女子大学)
への支部推薦演題が決定しました。

中播磨支部からは9名の先生方を推薦させて頂きました。

おめでとうございます！！

日頃の努力が報われた結果かと思えます。是非とも学会大会へ挑戦して頂き、自己研鑽を積んでいただけたらと思えます。これからも皆様の益々のご活躍を期待しております。





令和6年度中播磨支部事業

令和6年度

- ★8月7日 第1回中播磨支部研修会
「エビデンスに基づく肩腱板損傷患者の病態・評価・実践的アプローチ」
参加者：370名
- ★8月7日 新入オリエンテーション
- ★8月15日 新人発表会直前説明会
- ★9月上旬 播磨OH! 66号 発行
9月15日 第35回兵庫県理学療法学会@アクリエ姫路
- ★11月14日 中播磨・西播磨支部合同研修会
「糖尿病理学療法最新知見とベストプラクティス」

令和7年度

- ★1月下旬 姫路城マラソン事前研修会
- ★2月9日 新人発表会(発表者：42名 参加者：80名)
症例検討会(発表者：2名、聴講者：45名)
中播磨支部懇親会(参加者：31名)
- ★2月下旬 世界遺産姫路城マラソン2025(救護所理学療法士：24名)





編集後記



春の風が心地よい季節となりましたが、おかわりございませんか。無事に最終号を発行することができました。これも原稿依頼を快く引き受け、支部活動に協力して頂ける先生方のおかげと感謝しております。今後も御協力をお願いすることがあると思いますが、宜しくお願い致します。

今年度は、COVID-19の感染以降、久しぶりの対面形式での新人発表会や懇親会を開催することができ、有意義な時間が過ごせたことと思います。会員同士の交流が再び実施できることをうれしく思っております。今後より一層の交流の機会を作れるように努力してまいります。会員の皆様には今後ご迷惑をおかけするかもしれませんが、これからも運営委員一同結束し、取り組み解決してきます。今後とも中播磨支部活動および運営委員を宜しくお願い致します。

機関誌担当 かんざき訪問看護ステーション 鴨谷和明

会員の皆様にお願い

会員の異動動向や新人の就職動向の把握が県士会および支部の運営委員だけでは困難となってきています。近隣にリハ部門開設予定・開設した病院や新人が就職予定・就職した病院はありませんか？

何か情報がありましたら、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

中播磨支部事務局 医療法人仁寿会 石川病院 大谷武史

次回発行予定をお楽しみに！

